

会 議 録

会議の名称	第2回茨木市生涯学習施策推進委員会
開催日時	令和3年8月27日（金） （午前・ 午後 ） 2時00分 開会 （午前・ 午後 ） 3時45分 閉会
開催場所	茨木市立生涯学習センター 研修室302・303号
委員長	今西 幸蔵 委員長
出席者	【委員】 今西委員長、安藤委員、井上委員、内山委員、落合委員、木村委員、 桑本委員、佐野委員、式田委員、高尾委員、野崎委員、三輪委員、 矢野委員、山田委員 ＜以上、14名＞
欠席者	森委員 【1人】
事務局職員	上田市民文化部長、今西文化振興課長、地頭江文化振興課参事、新谷文化 振興課主幹 【4人】
開催形態	公開
議題（案件）	1 開会 2 （仮称）茨木市生涯学習推進計画素案の審議について 3 その他 4 閉会
配布資料	1 会議次第 2 （仮称）茨木市生涯学習推進計画素案（修正版） 3 第1回茨木市生涯学習施策推進委員会後のご意見への対応・回答（案）
傍聴人	0人

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
今西課長	ただ今より、第2回茨木市生涯学習施策推進委員会を開催する。 本日の出席状況は、委員総数15人中、現在14人にご出席いただいているので、委員会規則第6条第2項より、会議は成立している。規定に基づき、議事進行は今西委員長にお願いしたい。
今西委員長	報告のとおり、本会議は定員を満たしていることから、会議を進行する。なお、第1回に決定したとおり、会議は公開とする。
	2 (仮称) 茨木市生涯学習推進計画素案の審議について
今西委員長	それでは、(仮称)茨木市生涯学習推進計画素案の修正案について、各委員より意見をいただきたい。事務局より説明を求める。
地頭江参事	【(仮称) 茨木市生涯学習推進計画素案の修正について】
今西委員長	本委員会では、生涯学習推進計画の大きな方向性について検討していく。まず、1ページの生涯学習の体系図とコロナにおける課題について、議事を進める。事前に各委員より意見をいただいているが、質問等があれば承りたい。いかがか。
木村委員	茨木市生涯学習推進計画は誰のためのものか。対象が市民、または行政が生涯学習を推進するためのものかによって、内容が変わると思う。
地頭江参事	対象は市民である。
木村委員	対象が市民であるならば、子どもから高齢者まで誰もが分かりやすい内容、文字の大きさにも配慮すること念頭に置きながら、計画を策定しなければならない。
今西委員長	生涯学習は様々な世代の人が取り組むものである。この推進計画は、生涯学習に取り組む全ての人の茨木市版のテキストだと思う。
野崎委員	1ページの生涯学習の体系図に関連して、市民が計画全体を理解できるようなフレーム図やポンチ絵を作っていく予定はあるか。
地頭江参事	概要版にて作成する。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
野崎委員	1 ページの生涯学習の体系図に関連して、最初にこの体系図があると、この計画のゴールが分かりにくいのではないか。現状の体系図では、「学校教育」が目立つため、計画のターゲットが「児童生徒」に思える。今回の計画のターゲットは、全市民が対象となるため違う図を作成してみてもどうか。例えば、生涯学習の概念を木に例え、根、土、木等のそれぞれのパーツにて表すのはどうか。
今西委員長	野崎委員より意見をいただいたが、いかがか。
安藤委員	1 ページの体系図は、生涯学習がよりよいまちづくりに繋がるイメージがある。生涯学習が自分に対して、どのように影響するかを可視化する必要があると思う。
今西委員長	野崎委員より、生涯学習の体系図には「木」をイメージしたものが必要との意見があったが、その通りである。教育は生涯学習の土台であり、その土台から幹が出てくることである。今の体系図では「教育」の主張が強いため、教育は生涯学習を支える基盤として位置付けるほうが良い。 また、現在の体系図の下部には「スポーツ」や「文化芸術」等の市民学習の記載があるが、この部分と教育の部分を入れ替えた方がいいのではないかと思う。
落合委員	この計画は市民に読んでほしいものである。その場合、行政は市民が主体となって学ぶことを望むものとなる。行政が生涯学習の環境を作ることが役割であるならば、体系図の「教育」が下部に位置付けられることは納得できる。体系図の上部に「教育」が位置付けられると、行政が主体のように思えるため、市民が自発的に学ぶというイメージが重要である。
内山委員	生涯学習の中には、教育による学びもあるが、「ボランティア」や「文化芸術」等の市民学習があることは理解できる。
桑本委員	1 ページの「生涯学習とは」と 18 ページの「人生 100 年時代構想会議におけるリカレント教育」の違いが分からない。
今西委員長	リカレント教育は、後の議論とするが、重要な項目ではある。
高尾委員	概要版を作成する話があったが、掲載する内容が重要である。市民にとって分かりやすい概要版を作成することが必要である。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	<p>コロナ禍等における取扱いについて、各委員からご意見を承りたい。いかがか。</p>
井上委員	<p>計画期間は10年間である。そしてコロナが1、2年後になくなるものではないと思う。それを踏まえると、章立てにすることは難しいため、第3章に追記していくのはどうか。特に、「Ⅱ 地域コミュニティ・地域活動における生涯学習」、「Ⅲ 生涯学習関連施設の活性化」の部分はコロナに影響があると思う。</p>
三輪委員	<p>コロナに限定せずに、「感染症」として記載してはどうか。項目は「市民の健康問題」とし、その中で感染症や保健について記載してはどうか。</p>
今西委員長	<p>三輪委員の意見は、コロナを感染症として捉え、生涯学習の中に健康学習を取り入れるものかと思う。</p>
高尾委員	<p>第3章「Ⅲ 生涯学習関連施設の活性化」について、お年寄りの方は、災害情報等をインターネットの他、コミセンで情報収集する方がいる。9ページの生涯学習関連施設に、各施設における講座や施設利用情報等を掲載し、各施設へ計画の設置をしてみてもどうか。</p>
今西委員長	<p>高尾委員の意見は、生涯学習における学習相談の領域として、学問上は扱われる。計画の中に、学習相談内容を記載することで、生涯学習の機会に繋がることかと思う。今回は、23から25ページ部分の意見を承りたい。</p> <p>落合委員から、本計画のキャッチフレーズを3案いただいた。「人が生きる まちが生きる 生涯学習のまち 茨木」、「みんなが生きる まちが生きる 生涯学習のまち 茨木」、「わたしが生きる あなたが生きる 生涯学習のまち 茨木」である。各委員より、キャッチフレーズ及び24ページの図について、意見を承りたい。いかがか。</p>
落合委員	<p>キャッチフレーズは、3案考えた。「生涯学習」以外に「文化芸術」や「科学のまち」等、何を選んでも使えるようなもの考えた。しかし、使い勝手のいいキャッチフレーズは、既に他市で使われているのではないかと考えている。</p>
今西委員長	<p>私が知る限り、同じものを使っているところはない。私もキャッチフレーズのたたき台を考えてみた。「人が伸びる、まちが伸びる、発展する生涯学習のまち、茨木」である。「伸びる」には、発達の意味を込めた。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
木村委員	P25 の目指すべき姿「みんなに“楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」の「楽しい」を「夢」に変えてはどうか。
今西委員長	皆さんはいかがか。P25 の目指すべき姿のキャッチフレーズは、本計画の根幹になると思う。本計画の根幹には、生涯学習をする人の「自己実現」があり、この部分には市民力や社会を担う活動を含んでもいいかと思う。キャッチフレーズの作成はどの自治体も難しく、何度も会議を開催するところもある。
三輪委員	「自己実現」という言葉の意味がわかりづらい。
今西委員長	市民にとっても分かりにくいと思う。事務局で検討いただきたい。
井上委員	25 ページの「目指すべき姿」「基本目標」は、誰に向けた言葉なのか。また、「目指すべき姿」はゴールであると思う。
今西委員長	貴重な指摘である。「目指すべき姿」はゴールであると思う。
木村委員	市民を対象とした計画であれば、難しい言葉を並べるよりも、自分の居場所を探すような記載にしてはどうか。私は今まで会社勤めだったが、会社を辞めてから居場所がないという人が多いと思う。そういった人に向けて、まちづくりのために生涯学習をするということは難しいのではないか。その人たちを惹きつけたいのであれば、簡単な言葉を使用すべきである。正論を並べた文章では、実際この計画を読む人が何人いるのかと思う。人を惹きつける計画であってほしい。
今西委員長	多くの市民が自分の居場所を見つけられるような優しい言葉があればいいと思う。
野崎委員	知恵を絞るしかないと思う。私は、落合委員が提案したキャッチフレーズの3つ目「わたしが生きる あなたが生きる 生涯学習のまち 茨木」が良いのではないかと思う。主語が「わたし」であるため、これは市民を意味する。計画の推進は行政が主導となるが、市民が住み続けてよかったと思えることが、この計画の最終目標であると思う。 生涯学習の体系図を「木」のイメージにするという件だが、木は太陽と水により、大きな木が育つ。生涯学習で表すならば、育つものは「人間」であり、家庭教育は「土」、太陽が当たることで自分が大きくなり、やがて

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	実になる。そしてこの実は、他人にも影響を及ぼす。これが生涯学習だと思う。
今西委員長	キャッチコピーは、この場で決めないといけないか。
地頭江参事	他の方の意見も伺いたい。
今西委員長	野崎委員の後述の意見は、生涯学習の体系図を木に見立てて考えることである。根底には土があり、教育という栄養が与えるということだ。一度検討してみてもどうか。
地頭江参事	生涯学習の体系図を木に見立てて考える件について、野崎委員に一度絵を提案していただきたい。
今西委員長	他にいかがか。
佐野委員	9ページの「主な市内生涯学習関連施設等との連携」について、市民体育館やグラウンド等のスポーツ施設が記載されていないことについて意味はあるか。また、小豆島との交流についても記載してはどうか。
今西委員長	スポーツ施設は生涯学習に関連するため、検討いただきたい。
地頭江参事	スポーツ施設は記載し、交流関係については検討する。
落合委員	市民に分かりやすい推進計画にするためには、どのようにすればよいか。職員向けの計画と、市民向けの計画を作ってみてはどうか。
今西委員長	落合委員より意見をいただいた。いかがか。
木村委員	私も同意する。きちっとした計画と、市民に対して簡潔に分かるものがあればよいのではないか。
地頭江参事	職員、市民向けの計画を2冊作ることは難しい。また生涯学習関連施設の紹介や講座の種類等は、計画に記載するとボリュームが大きくなる。素案と概要版を作成し、概要版は市民に分かりやすいものを考える。
上田部長	沢山のご意見をしていただき、ありがとうございます。計画は皆さんに

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>分かるものでなければならないと思う。市民向けの冊子については、概要版を作るのではなく、市民に身近に感じられるリーフレットを作成し、理解してもらえるように工夫する。</p> <p>計画は誰のためのものかという話があったが、市民のものだけでなく、様々な団体等の道しるべになるべきものである。色々な方に伝わるキャッチフレーズは、「私が」という主語が入っているものが良いかと思う。</p>
今西委員長	時間が来ている。他はいかがか。
山田委員	推進計画は、市民が利用する計画であるため、市民にとって分かりやすいものでなければならないと思う。その一つとして、分かりやすい概要版、施設のマップや特徴を記載し、市民にとって利用しやすい概要版の作成をお願いしたい。
今西委員長	市民に分かりやすい概要版について考えていただきたい。 リカレント教育について、いかがか。
桑本委員	生涯学習とリカレント教育は似ていると思う。学校教育の後、社会で働きながら学習することがリカレント教育であると思っている。生涯学習というよりも、リカレント教育の方が分かりやすいのではないか。
今西委員長	リカレント教育は生涯学習の一つである。木で例えるならば、リカレント教育は「学び直し」となるため、木の枝となるものであり、木の一つの柱となる。
	3 その他
地頭江参事	<p>今回の素案修正版について、前回と同様にご意見いただきたい。可能であれば、具体的に記載していただくとありがたい。</p> <p>今回は、10月後半を予定していたが、他の計画策定と日程を揃えること、またコロナの状況等を考慮し、年明けに会議の開催を予定している。1月に会議を開催し、その後パブリックコメントを実施、推進計画の策定を行う流れとなる。</p>
今西委員長	<p>本日もたくさんの意見をしていただき、ありがとうございました。</p> <p>本日も貴重な意見をいただいた。これをもって議事を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<div data-bbox="373 347 539 394" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">4 閉会</div> <div style="text-align: right; margin-top: 100px;">以上</div>